

川島前代表の慰霊と行仙宿巡回整備

◇実施日 8月10日 雨時々曇り

◇参加者 梶野照雄、山本直子、志岐敬 3名

2019年8月11日に山行中の川島前代表が急逝して6年が経つ。今年も慰霊をすべく行仙宿に向かったが、あいにくの雨で3名の他に参加者は無かった。途中でお供えの花を買っていかうと思っていたが、うっかり吉野を通り過ぎてしまい、上北の道の駅やカーブの店、かなりの湯の売店を訪ねてみたが、どこにも花は置いていなかった。



川島さんの慰霊



小雨が降り出す



行仙宿に到着

午前11時、登山口に着き歩いて登りだす。途中で榊の枝を切って

川島さんの死去現場に供え、黙とうをする。



お堂の掃除

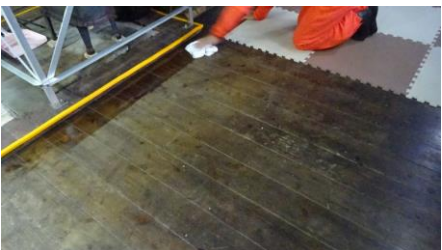


登りだした頃は小雨が降っていたが、第一ベンチ付近から雨は止んで傘をたたんで黙々と登る。第2ベンチ手前からはまた雨が降り出し、再び傘を広げた。行仙宿に着いて、お堂の掃除と檜の交換を行う。小屋に入って昼食を摂ろうとしたら、ストーブ西側のマットがずぶ濡れになっている。志岐さんが気付かず通り靴下が濡れてしまった。窓が開いたままになっている。乾いたタオル4〜5枚でふき取り、念のためマットを外して木の床も拭き取った。お湯を沸かして昼食を摂る。発電機が無く、掃除機が使えないので電池のブローアーを逆向きに使い、目立ったごみを掃除した。深仙宿避難小屋の配線損傷や持経宿、行仙宿ともにネズミの被害が報告されているので、粘着シートのネズミ捕りを用意してきた。小屋の3か所と管理棟と倉庫にそれぞれ一つずつ、合計五つの粘着シートを置いた。23日に新宮まで行く予定なので、行く途中に行仙宿に立ち寄って、粘着

シートを回収、処理しようと思う。



マットがずぶ濡れ



床も拭く



本日の参加者

はなく、降ったり止んだりなので暫く小屋で待機する。15分位で雨は止み下山を始めた。35分程で登山口に着き帰宅した。

(記；梶野)

行動タイム

11:00 補給路登山口→12:05 行仙宿 14:03→14:39 補給路登山口



粘着シートのネズミ捕りを置く



下山途中

下山しようとしたら雨が激しく降ってきた。今日の雨は連続してで